



# 翔べ！松中生

令和5年度 第8号 11月30日発

## 「2023年のまとめを！」

校長 齋藤 明

11月末には期末テストが終わり、2023年も残すところあと1ヶ月となりました。

今年を振り返ると、約3年半のコロナ禍での生活が、5類移行となり、前半と後半では生活様式も大きく変わってきました。

前半は、常に感染症と向き合いながらの学校生活が続き、1年生のスキー教室の実施が危ぶまれたり、卒業式、入学式での参会の条件や人数制限などもありました。

後半のコロナ5類移行後は、一応の終息と考え、稲穂祭や体育祭などの学校行事の対応もコロナ以前の状況に徐々に戻しつつ計画を実行して大きな成果を得られました。また、大会や発表会、表彰式など人が集まる機会も多くなり、活躍の場も徐々に増えてきました。

1年の振り返りにあたり、みんなで高めていきたい生活面があります。

皆さんも【**時を守り、場を清め、礼を正す**】という言葉聞いたことがあると思います。この言葉は、教育学者：森信三先生の提唱したのですが、よい学校には、必ずこの行動規範が身についています。それぞれ解説すると次のようになります。（自分ができているか振り返りましょう）

【**時を守り**】とは、時間を守ると共に、相手を尊重すること、それを続けることにより自分が信用を積み重ねることにもなります。誰もが、すべての予定の開始5分前に姿勢を正し、心を静め、開始を待つことが大切だと教わったのではないのでしょうか？（先生も生徒も同じ！）

【**場を清め**】とは、掃除をすることです。机やロッカー、自分の部屋などどうでしょうか？昔教室の清掃道具入れの扉に「清掃する姿は、その人の心を表す」とよく書いたものです。清掃することで、「気づく人になれる」「心を磨くことができる」「謙虚になれる」「感動の心をはぐくむことができる」「感謝の心がめばえる」など様々な力が身につきますよね。足元のゴミを1つ拾うことで、1つきれいになり、人のために尽くしたことにもなります。（義の心は素敵です！）

【**礼を正す**】とは、挨拶をすること、返事をすることです。挨拶をするということは、相手に心を開いているということです。挨拶をすれば人間関係がよくなり、しなければ悪くなるでしょう。誰に会っても、相手に聞こえる大きな声で相手が気持ちよくなる挨拶ができるといいですよ。そして、呼ばれたら「ハイ！」と返事をすることも同様だと思います。コロナ禍でマスクをしていたことで、一番弱くなっていると感じる部分は、挨拶の声の大きさと返事です。大きな声を制限があったことやマスク越したからと言う理由で、見過ごされている部分かも知れません。朝の登校指導でも、挨拶などは聞こえる人と聞こえない人、少数ですが顔を向けられない人もいます。（急いでる？）

【**時を守り、場を清め、礼を正す**】は、すべての人にできるようになって欲しい力です。自分に必要なことから実践しましょう。平凡なことを徹底してやることを「凡事徹底」といいます。

自分を磨く一番の方法は、今できることをしっかりやりきることだと先生は思います。

さあ年の瀬です。1年間を振り返って、2024年の準備をしていきましょう。